

地区報 **ぐみさわ**

第10号

平成30年度役員体制・事業計画が決定されました。

去る4月28日に汲沢地区社会福祉協議会および汲沢地区連合町内会の総会が開催され、平成30年度の役員体制・事業計画等が決定されました。このうちの役員体制と事業計画を以下に紹介いたします。

○ 汲沢地区社会福祉協議会役員（敬称略）

役職名	氏名	出身団体	役職名	氏名	出身団体
会長	本田 馨	汲沢町内会	理事	石田 守	ライオンズ戸塚第3自治会
副会長	石井 徹	地区民生委員・児童委員協議会	理事	長谷川和孝	大久保自治会
理事	宮武 祐一	汲沢見守り活動連絡会会長	理事	吉村奈保子	汲沢さつき町内会
理事	持田みつ子	地区民生委員・児童委員協議会	理事	菅原 精一	汲沢西団地自治会
理事	金山 保	青少年指導員協議会	理事	近藤 京子	汲沢町内会
理事	今井 健二	保健活動推進員	事務局長	小林 浩	ぐみさわ東ハイツ自治会
理事	古賀 理恵	交通安全母の会	会計	小林 浩	ぐみさわ東ハイツ自治会
理事	中澤 一勇	老人会・友愛会	監事	阿久津芳江	ぐみさわ東ハイツ自治会
理事	春口 満隆	家庭防災員連絡員	監事	古川 正弘	ぐみさわ東ハイツ自治会
理事	猪口 英子	消費生活推進員			

○ 汲沢地区連合町内会理事会役員（敬称略）

役職名	氏名	出身団体	役職名	氏名	出身団体
会長	石井 利明	汲沢町内会会長	常任委員	長谷川和孝	大久保自治会副会長
副会長	小出 誠治	大久保自治会会長	常任委員	和田 泰弘	大久保自治会副会長
副会長	笹原 謙策	汲沢西団地自治会会長	常任委員	金木クミ子	汲沢西団地自治会副会長
会計	阿久津芳江	ぐみさわ東ハイツ自治会会長	常任委員	上原 憲治	汲沢西団地自治会副会長
会計監査	秋澤 孝司	汲沢さつき町内会会長	常任委員	古川 正弘	ぐみさわ東ハイツ自治会副会長
会計監査	国吉 義夫	ライオンズ戸塚第3自治会会長	常任委員	吉村奈保子	汲沢さつき町内会副会長
常任委員	石井 市作	汲沢町内会副会長	常任委員	早川 茂男	ライオンズ戸塚第3自治会副会長
常任委員	石井 周夫	汲沢町内会副会長	常任委員	本田 馨	地区社会福祉協議会会長
常任委員	近藤 京子	汲沢町内会副会長			

町内会自治会 団体名	汲沢町内会	ぐみさわ東 ハイツ自治会	大久保自治会	汲沢さつき 町内会	汲沢西団地自 治会	ライオンズ戸塚第 3自治会
民生・児童委員	◎石井 徹 石井美鳥	中倉瑠璃子 近藤京子	松本 愛子 永吉寿博	持田みつ子 佐藤裕美	金木クミ子	——
スポーツ推進委員	東郷 佳子 清水 力	◎藤田 卓也	高山 智	政村 隆夫	中野 泰志	成田 修三
青少年指導員	石井 彰 望月 大嗣	山本 昇	梅原 稔	仲庭久美子	松尾 寛和 松尾 千尋	◎金山 保

保健活動推進員	◎今井 健二 石井 頼子	石丸 京子 石井 健次	堀 純三郎	勝又寿満子	田村 紀子	高松 平吉
子供会・育成会	小林 幸恵	山崎 香苗 鈴木 后子	——	長谷川理恵	——	——
消費生活推進員	久保田優子	茂木 緑	◎猪口 英子	大沼 幸司	杉崎 恵子	六岡 朋子
家庭防災員	田畑奈緒子	石川美保子 和久井正子 鈴木 悦子	寺島 直輝 滝田 恵子 酒井 公子	鈴木美津子 林 ひとみ	横山 真郁 宇山 雄一	◎春口 満隆 平吹 恵子 高山 裕治
連合町会女性部	◎古賀 理恵	石丸 克子	菅原 佳織	橋本 美香 堂前 治美	大川代志子	——
環境事業推進委員	◎馬場 芳宏 近藤 幸男 鈴木 義雄	風巻 昭美 三浦 晴光	長谷川政博	中野 忠	吉野佳名子	石田 守
老人会・友愛会	石井しげみ	赤坂 彰夫	◎中澤 一男	小屋 雅彦	上田 由大	——
交通安全母の会	◎古賀 理恵 折原 明美	澁谷 幸子	武者 千里	橋本 美香 堂前 治美	岡田テル子	——
戸塚交通安全協会汲沢支部	◎森 久夫	——	本田 安寛	大庭 正広	竹本 秀晴	——

注) 代表◎印

○ 平成30年度事業計画

社会福祉協議会、連合町内会、民生委員、青少年指導員、交通安全母の会、子ども会などの団体が主体となって実施するものです。詳細はその都度回覧等でお知らせします。皆様の参加をお待ちしています。

実施時期	事業名	対象者	実施場所
H30年7月1日(日)	七夕まつり	幼児・小学生、高齢者	汲沢地域ケアプラザ
H30年7/28~7/30	サマーキャンプ	小学生	群馬(赤城)
H30年7月28日(土)	汲沢納涼祭	汲沢地域住民	汲沢地域ケアプラザ
H30年8月19日(日)	夏休み工作教室	小学生	汲沢地域ケアプラザ
H30年8月26日(土)	地区懇談会	汲沢地域住民	汲沢地域ケアプラザ
H30年9月2日(日)	敬老の集い	77歳以上の地域住民	こばと幼稚園体育館
H30年10月21日(日)	連合レクリエーション大会	汲沢地域住民	こばと幼稚園園庭
H30年11月17日(土)	環境美化活動(花植え)	小学生	まさかりが淵市民の森
H29年12月2日(日)	クリスマスリース作り	小学生、地域住民	汲沢地域ケアプラザ
H29年12月22日(土)	人形劇	幼児、小学生、地域住民	汲沢地域ケアプラザ
未定	講演会	地域住民	汲沢地域ケアプラザ
6, 10, 12, 2月の 第1火曜日	ふれあい会食の会 (ミニディ)	地域高齢者	汲沢地域ケアプラザ
5, 7, 9, 11, 1, 3月の 第1火曜日	誕生会		

◎ 環境事業推進委員の活動について

町内会の皆様には、日頃よりごみの分別や、分別毎に定められた曜日のゴミ出しに、ご協力いただきまして有難うございます。

ゴミといえば捨てるという時代から、資源とし活用するようになった経緯を説明し、皆様のご理解と、ご協力を得て、住みよい美しい街作りに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

・ 昭和50年以前までは、家でごみは各自で処理することでした。処理方法は燃やす、川に捨てる、土に埋めるでした。結果、川の汚染、有害燃焼ガスの発生など公害が、特に都市部では人口増加により顕在化しました。また資源の枯渇化も叫ばれ、これらの問題を解決する手段としてゴミ収集の社会インフラが構築されました。

横浜市は平成13年から分別を主体とするリサイクル形社会インフラG30を構築し、現在はG30をさらに進化させたゴミの総量を少なくする3R夢運動へと進化し、3R夢運動ではマイバックの利用、多重包装製品は購入しない、食品ロスを減らす等の展開中です。

・ 環境事業推進委員の活動は、当連合町内会にあるゴミ集積場所、総計85ヶ所を把握し、週4回の収集日に合わせ近くの集積場所の巡視や、不定期で毎月1～2回は全体の巡視を行っています。結果は集積場所の約80%はルールが守られ、残り20%はルール無視の残留ゴミが残っているのが現状です

・ 推進委員は、ルールを守らない20%のゴミ集積場所から残留ゴミを無くすことです。

対策として手書きのポスターや、住宅（独身寮）の玄関ドアの内側にごみに関するポスターを張るとか、・・・等の施策を実行して、地味な活動ですが社会インフラの維持に努めています。

・ 推進委員は、ルールを守る人たちに対し、平成29年度より、横浜市では“優良ゴミ集積場”に感謝状を送る制度が出来ました。ルールを守り、清潔な環境を維持しているゴミ集積場所を対象にしています。推薦は日頃の巡視を活用して行いました。本年度は戸塚区で22件の表彰が行われ、汲沢連合町内会では大久保、さつき、汲沢の各町内会が各1ヶ所で計3件の受賞をしました。

(環境事業推進委員代表 馬場芳宏)

平成30年度 環境事業推進委員氏名等 (○印：代表)

氏 名	出身団体	氏 名	出身団体
長谷川 政博	大久保自治会	石田 守	ライオンズマンション戸塚第3自治会
吉野 佳名子	汲沢西団自治会	近藤 幸男	汲沢町内会
風巻 照美	ぐみさわ東ハイツ自治会	鈴木 義雄	汲沢町内会
三浦 晴光	ぐみさわ東ハイツ自治会	○馬場 芳宏	汲沢町内会
中野 忠	汲沢さつき町内会	—————	

◎ 施設見学会（消費生活推進員）

平成29年11月14日に再生紙工場（コアレックス）、ビール工場（キリンビール）をめぐるバスツアーを企画し50名の皆様にご参加していただき、汲沢地区連合町内会、消費生活推進員との協力で神奈川県下の企業の工場を消費者の目で見学するツアーを行いました。



再生紙工場は私たちが分別した紙ごみを使ったトイレトペーパーを作る工程などの説明を聞き、その後工場を見学いたしました。見学後、トイレトペーパーのお土産をいただきました。ビール工場ではビールの出来るまでのお話を聞いた後、実際に出来立てのビールとアルコールの飲めない方はソフトドリンクを試飲しました。



参加者して下さった方々から

- ・ゴミ（資源）を大切にしようと思います
- ・楽しい一日でした
- ・再生紙利用が興味深く勉強になりました
- ・有意義な工場見学でした
- ・これからもこのような企画を続けてほしいなどのお声をいただきました。

（消費生活推進員 六岡 朋子）



◎ 地域防災講座「女性の視点を大切に！」（家庭防災員）

12月3日（日）横浜市男女共同参画推進協会の吉武恵美子氏をお招きして汲沢地域ケアプラザと共催にて“女性の視点から防災時の不安や課題を考える”をテーマに地域防災講座を開催しました。当日は約30名の方にお集まりいただき、深谷消防署長の田村様のお話に始まり、災害時における被害状況のデータに男女差があること、女性から見た避難所での活動状況、チェックシートを使って自分にとっての防災グッズの必需品を考えたりなどととても参考になるお話をさせていただきました。

講演を聞いて参加者から、“非常持ち出し袋を見直したい”、“今このあたりでは大きな災害がないので今一度気を引き締めたい”などの感想をいただきました。

講座終了後はヘルスメイトさんのレシピによる普段から家庭に常備してある食材を使い、火を使わずに作れる非常食を参加者に試食していただきました。

（29年度家庭防災員代表 黒岩 雅美）



◎ 地域防災訓練に参加して

防災と聞いて思い出されるのは東日本大震災と阪神淡路大震災、そして熊本地震でしょうか。その当時は地域の防災訓練などあまり頭にはなく、何とかなるだろうと思っていました。

近頃地域の仕事に関係するようになり、自分だけではなく地域の方々との関わりが大切だなと思うようになり、2月25日に汲沢小学校で行われた地域防災訓練に参加しました。

参加してみると備蓄品備蓄状況の見学、体育館における簡便な担架の作り方体験や震災ビデオの視聴など地域の方々との顔合わせも出来た訓練参加はとても参考になりました。

参加して思ったのは、防災に対して興味を持たせ、ご近所の顔が見える関係をどう構築して、災害に強い安心安全に暮らせる町づくりをしなければと強く思いました。

(東ハイツ自治会会長 阿久津芳江)



◎ 「星を観る会」

私は、最後の星の会を見てとても思い出に残りました。

毎年、妹と参加していたのですが、家族といっしょにこれたので今まで以上に楽しかったです。

今回の星の会の内容は、まず最初に、戸塚高校のお兄さん、お姉さんが劇をしてくれました。劇では、星座のことを小学生の私たちにもわかりやすく説明してくれたので星に興味がありました。

説明の後に、屋上に行って360度回る展望デッキで星を見ながら、自分たちの星座の事を話してくれました。私の星座は「いて座」ですが色々な伝説がある事を知りました。

次に、外へ出て展望鏡を見て星をみていたらなんと……「江の島の灯台」の光が遠いのに見えていっしょにいた友達とその場で写真をとりました。最後に、元の場所にもどり、またDVDを見て「星の動き」、「冬の星座」などをいっぱい知りました。

私は5年生までは星の会に参加していましたが、星座などは全然興味がありませんでした。6年生の星の会は、星座や自分の知らなかった事が知れて楽しかったです。

みなさんもぜひ星を見る会に参加してみてください。たのしいですよ。

(東ハイツ自治会 阿部 汐美)

* これまでに参加していただいた皆様に感謝です。30年度からは参加者減少により中止することとなりました。

◎ 花植え（環境活動）

平成23年度から始めた花植えは29年度で8年目を迎えました。
花壇の根越しはいつもお花を提供していただいている大島園（石井徹氏）に委託しており、パンジーを中心にした秋の花植えそのものは楽な作業です。
このため、二つある花壇を子ども会と社協・連合町内会の合同チームとで手分けして花植えを行っています。作業は30分も掛からずに終了してしまいます。
本年は両チームとも約20名の参加をもって作業を終えました。
花壇は「まさかりが淵市民の森」淵の上広場にあります。一段下がった芝生の広場には梅の木があり、少し上った子ども広場には桜の木があって、それぞれの季節には花見を楽しむことができます。
今年度は11月19日に行いましたがこの他に3、6月に子ども会が中心に花植えをした後は青少年指導員がリードのもとにゲームなどを行っています。

（汲沢地区社会福祉協議会）



30年3月子ども会の花植え風景



花植え終わった後のゲームを楽しむ子どもたち



編集後記

新年度になり、新一年生が大きなランドセルを背負い一生懸命通学している。
人生のスタートだ、楽しい学校生活を送ることを望むところです。
最近、世界中が大きく変化しつつあるようだ。しかし地域の活動は少しずつ変化するものの、地道に継続していくことが大切だと思う。
地域の各活動に昨年より一人でも多く参加していただけるよう、頑張りたい。

（東ハイツ自治会 K・H記）